

令和3年度三重県沿岸種資源評価

マナマコ

資源水準・動向

赤ナマコ: 低位・減少
青・黒ナマコ: 低位・減少



生物情報

- ・同種内に3タイプの色彩変異があり、赤ナマコは外洋域、青・黒ナマコは内湾域に多く分布し、青ナマコと黒ナマコは遺伝的に同種とされる。
- ・赤ナマコの産卵期は2～3月、青ナマコの産卵期は3～6月、黒ナマコの産卵期は不明。
- ・青ナマコでは満1歳で体重15.5g、満2歳で122.4g、満3歳で体重307.1g、満4歳で体重472.5gとなる。

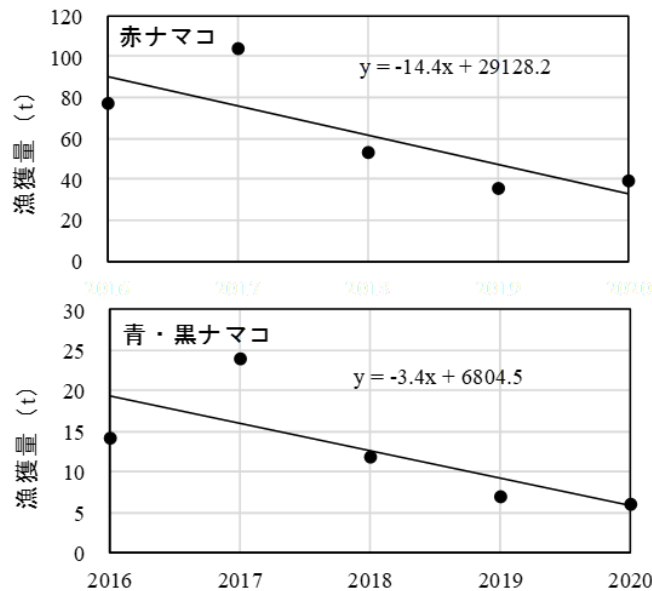
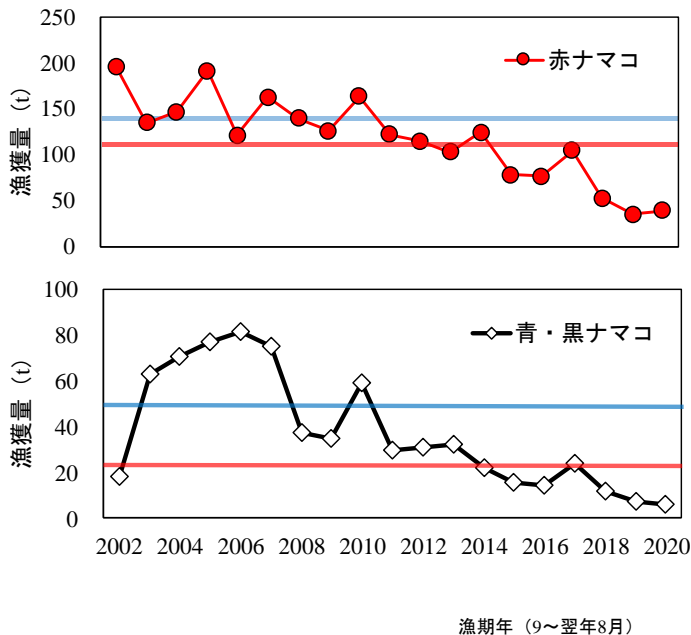
漁業の特徴

- ・鳥羽市で漁獲量が多く、志摩市、紀北町が次いで多い。漁獲盛期は冬季。
- ・たも掬い漁業、海女漁業で漁獲される。



資源状態

- ・鳥羽市におけるタイプ別の漁獲量から、資源水準は赤ナマコ、青・黒ナマコともに「低位」とした。
- ・鳥羽市におけるタイプ別の漁獲量から、動向は赤ナマコ、青・黒ナマコともに「減少」とした。



資源管理の取組

- ・自主的な禁漁期の設定が行われている。

将来考えられる資源管理の取組

- ・引き続き漁期の制限を行うことが有効であると考えられる。